

主要事業評価シート(第1次実施計画/H29・30・31年度)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	総合政策部
	17096	若者交流推進事業	課名	政策課 政策調整G
	施策の大綱	05:市民力・地域力の活性化	財	会計 01:一般会計
	基本施策	02:市民参画・協働の推進と多様な交流活動の促進	務	款 02:総務費
	施策の方向	01:市民参画・協働の推進	科	項 01:総務管理費
戦略プロジェクト	-	目	目 07:企画費	
事業予定期間	H 28 ~ H - 年度	主な根拠法令要綱等		

② 目的・概要	対象	市内在住・在勤の若者
	目的	若者同士が交流する基盤を確保し、市の事業への参加やイベントの開催、政策アイデアの発表等を通じた交流機会を創出することで、若者世代の積極的なまちづくりへの参画を促進し、地域の活性化を図る。
概要	平成28年度に設置した「かめやま若者未来会議(愛称:わかめ)」を交流基盤とし、メンバー会議の開催、市内行事への参加、多種多世代の市民等との交流会、まちづくり先進地視察などの活動を行う。また、平成30年度には、「かめやま若者未来会議」の主催によるイベントを開催し、平成31年度に政策アイデアの発表を行う。	

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	
③ 事業の計画・実績	年度計画	<ul style="list-style-type: none"> ○メンバー会議の開催 ○市内行事への参加 ○市民等との交流会の開催 ○まちづくり先進地の視察 ○スキルアップ研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○メンバー会議の開催 ○市内行事への参加 ○市民等との交流会の開催 ○まちづくり先進地の視察 ○スキルアップ研修の実施 ○政策アイデアの発表に向けた検討 ○若者会議主催イベントの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○メンバー会議の開催 ○市内行事への参加 ○市民等との交流会の開催 ○まちづくり先進地の視察 ○政策アイデア発表会の開催 	
	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ○メンバー会議の開催:7回 ○市内行事への参加:1回(亀山大市にて「亀山茶あげばん」の販売) ○市民等との交流会の開催:1回(活動報告会) ○まちづくり先進地の視察:2回(福井県鯖江市、静岡県焼津市) ○スキルアップ研修の実施:1回(プレゼンテーション研修) 			
事業費	計画額	事業費	1,000千円	1,000千円	1,100千円
		国庫支出金	500千円	500千円	550千円
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	予算額	事業費	656千円	900千円	
		国庫支出金	431千円	450千円	
		県支出金			
		地方債			
		その他			
決算額	事業費	461千円			
	国庫支出金	220千円			
	県支出金				
	地方債				
	その他				
人件費	一般財源	241千円	0千円	0千円	
	総人件費 ②	1,536千円			
	一般職員	1,536千円			
	所要人員	0.20			
	臨時職員等	0千円			
総コスト(①+②)		1,997千円			
受益者負担率		0.0%			

			平成29年度	平成30年度	平成31年度
④ 指標	①	名称 市の行事へかめやま若者未来会議が参加した回数	計画値 1	1	1
		市の行事への出展、出演、発表の回数	実績値 1		
		活動	単位 回	回	回
②	名称	かめやま若者未来会議が主催したイベントの回数	計画値 1	2	2
		主催した交流会、イベント、発表会の回数	実績値 1		
		活動	単位 回	回	回
③	名称	かめやま若者未来会議の登録者数(累計)	計画値 40	45	50
		平成28年度からの累計登録者数	実績値 43		
		成果	単位 人	人	人

⑤ 事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 メンバーの多様性を確保するため、近隣の大学等に情報発信を行い、メンバー募集を行う。 また、楽しく活動できる場づくりを通して中心的に活動するメンバー数を増やすとともに、人材育成を視野に入れた研修やまちづくり先進地の視察を行う。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 近隣の大学に対して、活動内容の周知やメンバー募集を行うとともに、市内行事(亀山大市)への出展等を通して、楽しく活動できる場の創出を図った。 また、若者が中心となってまちづくりを行う先進事例の視察やプレゼンテーション研修を行い、まちづくりについての見聞を広めるとともに、情報発信力の強化を図った。

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 メンバー会議(7回)、まちづくり先進事例の視察(2回)、プレゼンテーション研修(1回)、市内行事への出展(1回:亀山大市)、市民等との交流会(1回:活動報告会)を行い、計画どおりに実施できた。	A 計画どおり実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 メンバー会議を交流の基盤として、様々な活動を行い、若者同士の交流を促進できた。 具体的には、若者が中心となってまちづくりを行う先進事例の視察を通して、まちづくりについての見聞を広めるとともに、他地域の若者等と交流できたほか、プレゼンテーション研修を実施し、メンバーのスキルアップに寄与した。また、亀山大市への出展を通して、楽しみながらまちの盛り上げに参画することができたことに加え、活動報告会では、自治会関係者や市民団体等との交流を通じて、今後の活動に資するつながりを構築でき、十分な成果を得た。	A 十分な成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 これまでの活動を通して得られたつながりや学び・経験を生かしたアウトプットとして、かめやま若者未来会議主催のイベント等を実施するなど、メンバーが企画・運営を行う機会を創出することにより、より主体的かつ積極的なまちづくりへの参画を促進する必要がある。また、取り組みの中で感じた、本市のまちづくりへの課題や疑問を基に、若者目線での政策アイデアを検討する機会を設けるとともに、主体的に活動するメンバーの充実を図る必要がある。	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 メンバーが無理なく企画・運営能力を身につけていけるよう、懇親会など簡易な企画からメンバー主導で実行していける雰囲気づくりを行う。また、引き続き、まちづくり先進地の視察や研修等を通じてまちづくりへの理解・関心を深めるとともに、若者目線での具体的な政策アイデアを検討する機会を設ける。この他、メンバーがより楽しく活動できる場づくりを進めるとともに、活動をPRし、主体的に地域の盛り上げに取り組むメンバーの充実を図る。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 メンバーの企画・運営能力が向上し、より楽しく活動を行えるようになるとともに、主体的に地域を盛り上げる機運が高まり、若者世代の積極的な市政への参画が促進される。 また、政策アイデアの検討を通して、本市の行政に対する理解・関心が高まるとともに、地元愛や誇りが醸成され、若い世代の定着につながる。	
対応時期		平成30年4月	

【1次評価者】	総合政策部 政策課 政策調整グループリーダー 堤 大介
【最終評価者】	総合政策部 政策課長 豊田 達也